

社会資本総合整備計画 事後評価

丸子地域の歩行空間整備及び防災機能の向上による、市民が安全・安心に暮らせる市街地の形成

平成29年3月

長野県上田市

社会資本総合整備計画 事後評価書 (原案)

計画の名称	1 丸子地域の歩行空間整備及び防災機能の向上による、市民が安全・安心に暮らせる市街地の形成		
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度 (5年間)	交付対象	長野県上田市
計画の目標	<p>旧丸子町の中心市街地は、国道152号に沿って設立され、公共施設、学校、病院などが集中的に立地しており、災害時には、防災拠点の役割を担っている。しかし、幹線道路の整備が遅れ、歩道の老朽化が目立ち、安全、安心な道路・歩道整備、アクセス・利便性の向上が求められている。また、近年の集中豪雨によって、用排水路の越水が原因による冠水被害が多発しており、改善が求められている。</p> <p>このため、都市再生整備事業等により、歩行者の安全性、避難所及び公共施設への交通利便性の向上を図り、また、排水路の流下能力不足を改善することで、市民が安全・安心に暮らせる市街地の形成を目指す。</p>		

計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 市道中丸子22号線の交通指数 (混雑度) を1.32から1.00に改善。 歩行者の歩きやすさ (満足度) を42%から66%に改善。 水路流下能力改善・整備率を73%から100%に改善。 避難所 (音楽村公園) から防災備蓄倉庫間の緊急輸送が可能となる道路の整備率を69%から100%に改善。
-----------------	---

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H22末)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)	
交通量調査による数値算出 (混雑度)	1.32	1.32	1.00	
地区内小学校等へのアンケート調査 (満足度)	42%	42%	66%	
主要排水路における流下能力不足箇所 (10年確立) の改善・整備率	73%	73%	100%	
緊急輸送が可能となる道路の整備率	69%	69%	100%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	563百万円	A	393百万円 (94百万円)	B	170百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	16.7%
-------	------------	--------	---	----------------	---	--------	---	------	---------------------------	-------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
・上田市都市再生整備計画事業評価委員会において実施する。	平成28年11月
	公表の方法
	・上田市ホームページに掲載、上田市都市計画課の窓口にて閲覧。

1. 交付対象事業の進捗状況

A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H23	H24	H25	H26	H27		
1-A-1	都市再生	一般	上田市	直接	上田市	丸子中心市街地地区都市再生整備計画	区域面積 A=220ha 道路事業、地域創造支援事業	上田市						393	
合計												393			
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H23	H24	H25	H26	H27		
1-B-1	道路	一般	上田市	直接	上田市	茂沢音楽村線道路改良事業	L=565m・W=9.25m	上田市						170	
合計												170			
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			
1-B-1	避難場所へのアクセスが向上し、災害時の迅速な避難及び物資輸送が可能となる。														

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H23	H24	H25	H26	H27		
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考	

2. 事後効果の発現状況、目標値の達成状況

I. 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・中丸子22号線の整備により交通の混雑が緩和し、利便性が向上した。 ・小学校・高等学校の通学路である中丸子22号線、下丸子腰越線、四反田箱畳線の整備により歩行者の安全性が確保でき、満足度の向上につながった。 ・依田川橋排水路、下堰排水路、洲崎川の整備により流下能力不足箇所が解消し、冠水被害の減少につながった。 ・茂沢音楽村線の整備により、避難所(音楽村公園)から防災備蓄倉庫間の緊急輸送が可能となった。 									
II. 定量的指標の達成状況	指標① 中丸子22号線の交通指数(混雑度)	最終目標値	1.00	目標値と実績値に差が出た要因	中丸子22号線の整備により交通量は増加したが、可能交通容量も増加したため混雑度は低下した。						
		最終実績値	0.18								
	指標② 歩行者の歩きやすさ(満足度)	最終目標値	66%	目標値と実績値に差が出た要因	目標値に近い結果が得られており、改善が図られた。						
		最終実績値	65%								
	指標③ 流下能力改善・整備率	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因							
		最終実績値	100%								
	指標④ 緊急輸送路整備率	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因							
		最終実績値	100%								
III. 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現(必要に応じて記述)											

3. 特記事項(今後の方針等)

・整備した道路(緊急輸送路)や、排水路の適切な維持管理に努める。
 ・歩行空間の整備により一定程度の安全性・利便性の向上を図ることができたが、学校施設周辺では今後より一層の歩行空間整備が必要である。特に、丸子修学館高校正門側の都市計画道路芦田丸子線は、通学路であるが歩道が無く交通量が多いため、早急に整備を進める必要がある。
 ・丸子中央小学校やわかき幼稚園周辺は狭あい道路が多いため、通学路の安全対策を進める必要がある。
 ・排水路整備によりハード面の整備は進んだが、施設の操作や維持管理などのソフト面の課題を解決していく必要がある。

4. 事後評価原案の公表

公表方法	①市ホームページ ②丸子建設課、都市計画課窓口	意見の受付方法	担当課への郵送、直接持参、電子メール、FAX
公表期間・公表日	①② 平成28年10月21日～平成28年11月4日	担当部署	都市建設部都市計画課(都市再生整備計画事業主管課)
意見受付期間	平成28年10月21日～平成28年11月4日	住民の意見	

社会資本総合整備計画（参考図面）

計画の名称	1 丸子地域の歩行空間整備及び防災機能の向上による、市民が安全・安心に暮らせる市街地の形成	
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度（5年間）	交付対象 長野県上田市

